



1 飛騨地学研究会談話会のお知らせ

次の日時に、飛騨地学研究会談話会を行います。参加をお願いします。

【日時】 3月4日（土） 午後1時～4時

【場所】 古川町総合会館（古川駅裏・研修室2号）

〒509-4221 飛騨市古川町若宮 2-1-66 TFL 0577-73-6115

【内容】 飛騨山脈ジオパークと本会の活動について など



2 中部縦貫道上野トンネル見学報告

さる、9月3日（土）、中部縦貫道上野トンネルの見学を行いました。参加者は、下畑会長ほか、鷺見、寺門、石橋、中田の各会員でした。朝9時半に国府町三川の剣緒神社に集合し、車に乗り合わせて現場に行きました。

現場では高山国道事務所の大崎義保さんに案内していただきました。トンネルの入口は火山灰、泥流堆積物でしたが数十メートルで結晶片岩の岩盤に達したそうです。トンネルは、数百メートル掘削されていて、やはり三川の河床にあるのと同じ結晶片岩の岩盤がありました。ハンマーでたたくとかなり硬いことがわかりました。破片を持って帰りました。これまでは機械掘削でしたが、岩盤が固いので発破にするそうです。

次に別の工事現場の露頭に案内していただきました。昨年、信州大学の原山先生の講演会で聞いた露頭と同じ所でした。道路工事のため上野平の断面がよくわかりました。上からいわゆる高山ロームの火山灰層、上宝火砕流の二次泥流堆積物があり、上野泥流となっていて、上野泥流の下部には小八賀川の旧河床面がありました。河川性の円い礫層があり、その礫の中の安山岩が穂高安山岩のよう



写真1 上野トンネル内部



写真2 小八賀川の旧河床面（中央下の白い地層）

です。64万年前以前、上高地の梓川がこちらへ流れていたという証拠とされるものです。案内の大崎さんによると、「信州大学の巡検のとき、原山先生が学生に説明していて、学生さんが熱心にたたいていたのでこれが穂高安山岩ではないか」とのことでした。確かにたたいて割った安山岩があったので、その破片を持って帰りました。

台風12号の心配もありましたが、天気も良く、暑さの中で巡検は終わりました。

3 Web版岐阜県地質図『ジオランドぎふ』について

小井土 由光

2014年秋に公開しましたWeb版岐阜県地質図『ジオランドぎふ』(<http://www.geo-gifu.org/geoland/>)ですが、昨秋のモバイル版に続いて、12月1日に見学案内版を公開いたしました。現地でジオに直接触れていただくように県内で20コースを設定してあります。実際のコース設定には制約される条件がきわめて多い現実がありましたので不十分な内容となりましたが、それなりに県内のジオを網羅したつもりでいます。広く多方面で活用いただければ幸いです。

2013年春に始動した岐阜県地質図改訂の作業もこれで一段落したことになります。これからは補足・修正等を進めていき、より良いものに仕上げていきたいと思っています。お気付きの点を遠慮なくご連絡いただくようご協力いただければ幸いです。また、多くの方々に当Webサイトを広報・周知いただくことに加えて、各コンテンツに関する適切な写真をお持ちでしたらお寄せいただければ助かります。

報告を兼ねて連絡とお願いをさせていただきます。よろしくお願いたします。

4 事務局だより

会員のみなさん、お元気ですか。飛騨の正月は、昨年引き続き雪がなくて、ありがたいと思っておりましたが、その後、1月11日からついに降りました。

今度の談話会では、飛騨山脈ジオパークの進展状況について、下畑会長から説明していただきます。いよいよ、申請段階になったそうです。飛騨地学研究会も、積極的に関わることとなります。ここ2年間あまり活動ができませんでしたが、今年度は具体的に計画を立てようと思います。

会計報告を同封します。しばらく会費を徴収していませんでしたが、報告の通り、昨年度、決算がマイナスになりました。会費を集めることになりましたら、よろしくお願いたします。

